



しおかぜ



夏季浦戸合宿を開催します

今年の道院での夏季合宿は、8月4日(土)・5日(日)の一泊で塩竈市浦戸野々島のブルーセンターで開催します。

道院設立当初から夏季合宿は、重要行事と捉え毎年開催してきました。「岩手・宮城内陸地震」の2008年と「東日本大震災」の2011年は開催出来ませんでした。35年以上の歴史があります。最初は、「七ヶ浜町の民宿」から始まり、「塩竈道院専有道場」・「宮城県総合運動場宿泊所」・「宮城県泉ヶ岳青年の家」そして「国立花山少年自然の家」を会場に開催してきました。



2018.06.18 女性道院長来院

女性道院長3名が塩竈道院に

6月18日に女性道院長が3名来院し懇親を深めました。

何度も災害ボランティアで塩竈道院を訪れている愛知県の佐竹道院長を中心に熊本と鹿児島(種子島)の道院長が岩手からの帰りに立ち寄ってくれました。それぞれの道院活動の状況等情報交換し、夜遅くまで楽しく過ごすごうが出来ました。

宗由貴 総裁メッセージ

2018年6月6日発信

直心をモットーに……

日大アメフト部の、試合中



仙台社都道院での絵本タイム



の悪質タックル事件に端を発し、監督やコーチからのパワハラ問題が連日取り沙汰されています。今やセクハラやパワハラ、アルハラなど各種ハラスメントについては、組織や個人として避けて通れない課題となっています。

私も39年間組織の責任者として、これらの問題に対する対処を様々に経験してきました。その基準は、組織の長としては「逃げない」。判断は「ブレない」。改善は「あきらめない」。私自身ひとりの人間としては「直心(自分にも他人にも卒直に)」をモットーとしてきましたから、今回の事件や、国

今後の予定

- ◎7月27日(金) 18:00から 塩竈教区 昇級試験・僧階取得の為の勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎8月4日(土)09:30～5日(日)15:00 道院浦戸夏季合宿(浦戸ブルーセンター)
- ◎8月11日(土)～16日(木)道院稽古夏休み
- ◎8月26日(日) 09:00から 宮城武専(青葉区体育館)

会でのモリカケ問題の答弁、中央省庁の文書改ざんや隠蔽工作と受け取れる行為には、異常なストレスを感じています。

また昨日は追い討ちをかけるように、神戸市での中3女子生徒の自殺に関し、当時イジメの実態について同級生らへの聞き取りをし、イジメが原因と判明していたにもかかわらず、市教育委員会の首席指導主事と校長が相談し、遺族に対し「存在しない」と虚偽の説明をしていたと発表されました。ましてや、その理由が「事務処理が煩雑になるため」と説明されたのです。



日本社会はここまで壊れてしまったのかとの思いです。

アメフト部の加害者となってしまう選手
の謝罪にみられた問題意識と潔さや、被害者とその家族や関東学生アメフト連盟の現状認識と決断も、自分たちがどうなるかではない将来を憂いての問題提起であったと思います。超少子高齢社会だからこそ、どう生きるべきなのかの範を、国から示していただきたいと思うのは、私だけではないでしょう。

トップは知らないことも責任です。「自己責任」の感覚麻痺には気をつけたいものです。

中国古典 紹介

今月は、「**忌めば則ち怨み多し**」を掲載

『左伝』

「**怨む**」とは嫌うこと。対人関係でそんな感情を露骨に出すと、人の恨みを買うことになるというのだ。当然と言えば、当然のことである。

とは言え、どうしても好きになれない相手というのは必ずいるものである。しかし、そんな相手でも、距離を置いて淡々と対すれば、それでよいのではないか。ことさらに

嫌悪感などを示すのは愚の骨頂であろう。

「忌めば則ち怨み多し」を、とくに肝に銘じておいてほしいのは、人の上に立つ人間である。リーダーが部下に対して、あいつは嫌い、こいつはいやだとえり好みをしていたのは、組織はガタガタになってしまう。

リーダーは公平な態度で部下に接しなければならぬ。これはリーダーの重要な条件であるが、この公平原則を破る大きな原因の一つが、えり好みである。その結果、感情的な人事がまかりとおり、そのムリはいつか必ずリーダー自身の身にはね返ってくるのである。

